

パテレス 60 評定一括マーク請求カード

※現場単位でまとめて1枚のご請求カードでお送り下さい。 ※楷書体でご記入下さい。

■ 施工内容	
現場名	
所在地	
施工棟数	棟
施工主名	
建築施工業者名	
設備施工業者名	
ご購入店	
■ ご請求枚数 消防(共住区画)評定マーク	
○ 評定マークは、一つの防火対象物(建築物1棟)に1枚です。 ○ 共住区画とは、消防法施行令別表第1(5)ロ項に規定されている「寄宿舎、下宿又は、共同住宅」に適用されています。	枚
■ 施工のご確認	
本施工手順書に基づき施工完了された事をご確認の上ご署名下さい。	(印)
■ 送付先	
貴社名	
所属部署	ご担当者様
ご住所 ^{※1}	〒 -
電話番号	() -

※1. 施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入下さい。

〈注〉基本的に個別の評定マークは取扱いを行っておりません。

ご必要の場合は「評定マーク請求カード」で弊社確認後の手配となり、実費をご請求させていただきます。

(OYO) 日動電工株式会社 行

※上記枠内に下記の最寄りの営業所名をご記入の上、FAXにてお送り下さい。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 西日本営業部(大阪) FAX:075-320-4056 | <input type="checkbox"/> 札幌営業所(札幌) FAX:011-887-7001 |
| <input type="checkbox"/> 東日本営業部(東京) FAX:03-5764-3171 | <input type="checkbox"/> 仙台営業所(仙台) FAX:022-204-7709 |
| <input type="checkbox"/> 中部営業部(名古屋) FAX:052-768-1722 | <input type="checkbox"/> 広島営業所(広島) FAX:082-261-8854 |
| <input type="checkbox"/> 九州支店(福岡) FAX:092-622-1300 | <input type="checkbox"/> ハウス営業部(大阪) FAX:075-320-4056 |

ニフコ 給水・給湯、冷温水管及びケーブルの
さや管貫通の防火区画貫通部耐火措置工法

パテレス 60

取扱説明書

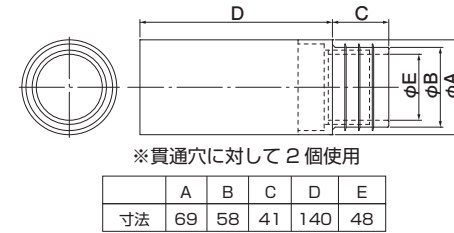
国土交通大臣認定番号 PS060WL-0906(壁)
PS060WL-1154(壁)
消防共住区画評定番号 KK29-014-1号(壁)

■「消防評定一括マーク」について

パテレス60を使用した防火区画貫通部措置工法は、平成17年消防庁告示第4号に規定する耐火性能を有することを(一財)日本消防設備安全センターにより確認(性能評定)されています。特定共同住宅等の壁(特定共住区画)でのご使用の際は、必ず性能評定品である旨の表示(評定一括マーク又は評定証票)が必要になります。

当社では消防評定一括マークをご用意しておりますので、製品と同封の請求カードに必要な枚数等をご記入の上、当社までFAXにて送付願います。確認の上、折り返しご請求枚数の「評定一括マーク」をお送り致します。

製品情報



【別売】

結束バンド [100本入] (品番: AB200-W) 追加が必要な場合は こちらをお使いください。	アルミフィルム [5枚入] (品番: ALF5) 必要なサイズに切っ てお使いください。	耐熱性シール材 (品番: NDSS-T) 可とう管と電気配線の 隙間を充填してください。 (イ)の施工方法のみ。
---	---	--

- 適用区画：コンクリートまたは ALC の壁 (厚 100 mm 以上)
- 適用配管

保護管の種類	挿入管または挿入ケーブル	最大配管またはケーブルサイズ	施工方法
なし	ケーブル	CVT38mm×1本 VVF2.0×3C×3本 VVF2.0×2C×2本	
なし	ケーブル	LANケーブルφ0.5-4P×1本 FP-Cφ1.2×2C×1本 AEφ0.9×4C×2本 HPφ0.9×3P×1本 VCTF(K)0.75mm×2C×3本 VCTF0.75mm×4C×1本 CPEVφ0.65-2P×1本 EBT×2本 光ケーブル 12C×1本 保護管なしの場合は、上記と合わせて下記も追加 (VCT0.75mm×2C×3本 VCT0.75mm×3C×2本)	ア
さや管(CD・PF管) 保護管 最大サイズ φ45.5	ケーブル	同軸ケーブル5C×1本 HPφ1.2×2C×1本 HPφ0.9×5P×1本 VCTF0.75mm×3C×1本 VCTF0.75mm×6C×1本 FCPEVφ0.9-3P×1本 ポリエステル紐φ2×1本 樹脂被覆鉄線φ2×1本	イ
さや管(CD・PF管)×2本 保護管 最大サイズ φ23	ケーブル	LANケーブルφ0.5-4P×各1本 CPEVφ0.65-2P×各1本 ポリエステル紐φ2×各1本 樹脂被覆鉄線φ2×各1本	ウ
さや管(CD・PF管) 保護管 最大サイズ φ42(CD36)	架橋ポリエチレン管 ポリブテン管 ウレタンフォーム付ポリブテン管	20A 25A	エ
さや管(CD・PF管) 最大サイズ φ36.5 楕円さや管 最大サイズ 36.5×23	アルミ蒸着PETフィルム巻き 架橋ポリエチレン管	10A×2本+7A×1本 信号線0.2mm×3C×1条 VCTF0.7mm×6C×1本	オ
ポリエチレンフォーム(被覆材) 最大10t	架橋ポリエチレン管 ポリブテン管 銅管 銅管+ポリエチレン(厚さ1.65) さや管(CD・PF)+補強層付 高耐熱フッ素樹脂ホース	20A 25A φ12.7×1本 φ12.7×1本 さや管(CD・PF)φ27.5×1本 補強層付高耐熱フッ素樹脂ホースφ14.6×1本	カ
なし	軟質塩化ビニルライニング ステンレス鋼フレキシブル管	25A	キ

(OYO) 日動電工株式会社

- | | | | |
|------------------|---------------------------------|---------------------|------------------|
| 西日本営業部 〒618-0013 | 大阪府三島郡島本町江川1丁目4番10号 | TEL:075-320-4055(代) | FAX:075-320-4056 |
| 東日本営業部 〒140-0013 | 東京都品川区南大井5丁目17番9号 黒田電気(株)本社ビル3階 | TEL:03-5764-3222(代) | FAX:03-5764-3171 |
| 中部営業部 〒463-0021 | 名古屋市守山区大森2丁目101番1 | TEL:052-768-1711(代) | FAX:052-768-1722 |
| 九州支店 〒812-0041 | 福岡市博多区吉塚3丁目18番23号 | TEL:092-622-1333(代) | FAX:092-622-1300 |
| 札幌営業所 〒004-0041 | 札幌市厚別区大谷地東4丁目2番20号 ウエストビル2階0号室 | TEL:011-887-7000(代) | FAX:011-887-7001 |
| 仙台営業所 〒984-0015 | 仙台市若林区卸町5丁目2番地8 | TEL:022-204-7707(代) | FAX:022-204-7709 |
| 広島営業所 〒732-0053 | 広島市東区若草町9番7号 三共若草ビル3階 | TEL:082-261-8831(代) | FAX:082-261-8854 |
| ハウス営業部 〒618-0013 | 大阪府三島郡島本町江川1丁目4番10号 | TEL:075-320-4055(代) | FAX:075-320-4056 |

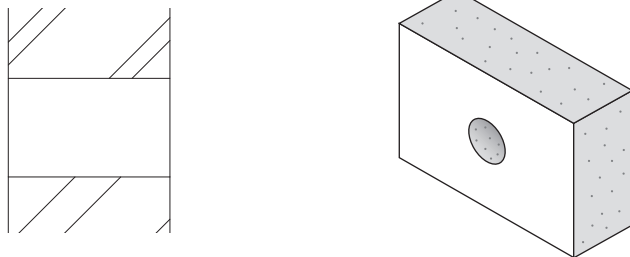
■ 施工方法

鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート又は軽量気泡コンクリートからなる耐火構造の壁に次のとおり施工を行います。

1 施工手順例

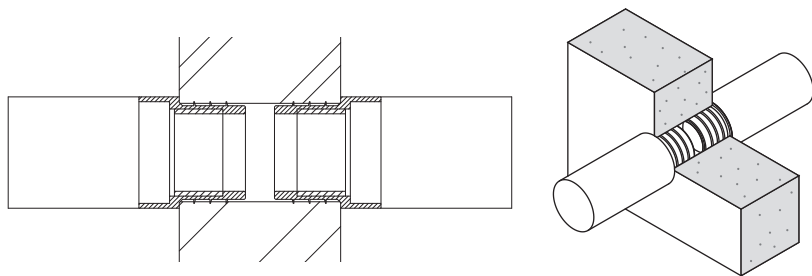
(1) 貫通開口部の設定

刃先径φ60のコアドリル等を使用して貫通開口部を設けます。



(2) スリーブ材の設置

貫通開口部の両側からスリーブ材を挿入し、壁面とスリーブ材との間に隙間がないように取付けます。

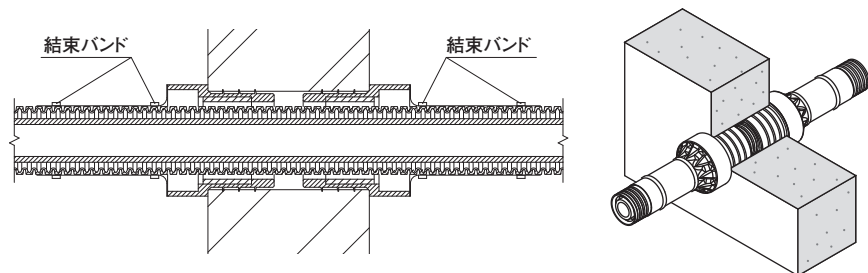


<施工時の注意事項>

片面へのスリーブ材挿入後、裏面への挿入の際には、閉塞シートを破ることがないように養生面等で行ってください。

(3) 配管の設置

スリーブ材を設置した貫通開口部に配管または電線（以下、配管等という）を挿入し、結束バンドを用いて閉塞シートを2か所ずつ固定します。



<施工時の注意事項>

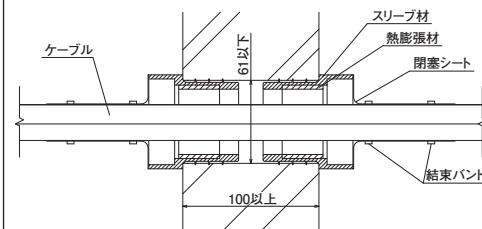
あらかじめ配管・配線を所定の向きに曲げた後に結束バンドで縛るようにしてください。

配管・配線後に向きを変えると閉塞シートが引きちぎれる恐れがあります。

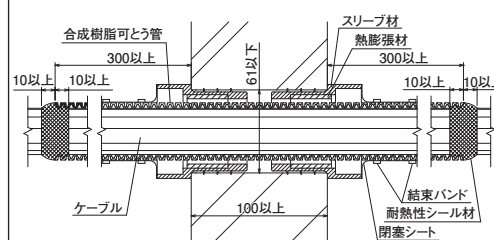
閉塞シートが破れた場合はアルミフィルム（品番：ALF5）【別売】をご使用ください。

2 施工方法

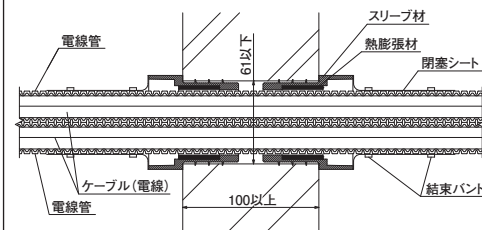
(ア) 電気配線の場合



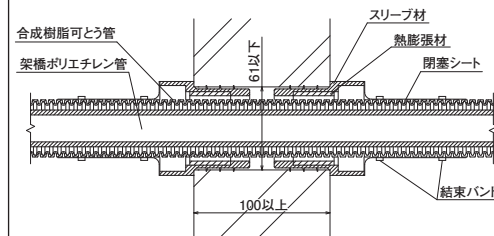
(イ) 合成樹脂製可とう管を貫通部分のみに設けて電気配線を挿入する場合



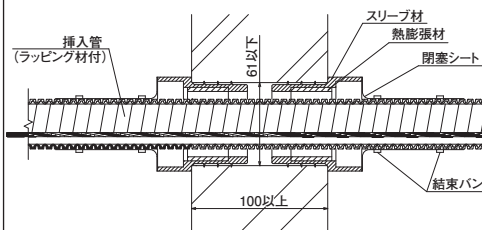
(ウ) 配管を2本貫通させる場合



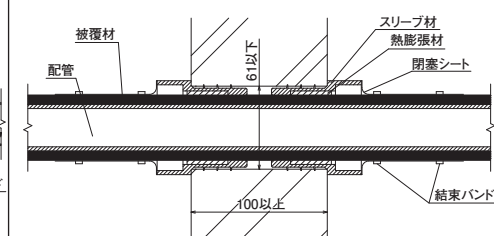
(エ) 合成樹脂製可とう管と挿入した配管の組み合わせの場合



(オ) 合成樹脂製可とう管と挿入した配管及び電気配線の組み合わせの場合



(カ) 被覆材付配管の場合



(キ) ステンレス鋼フレキシブル管の場合

